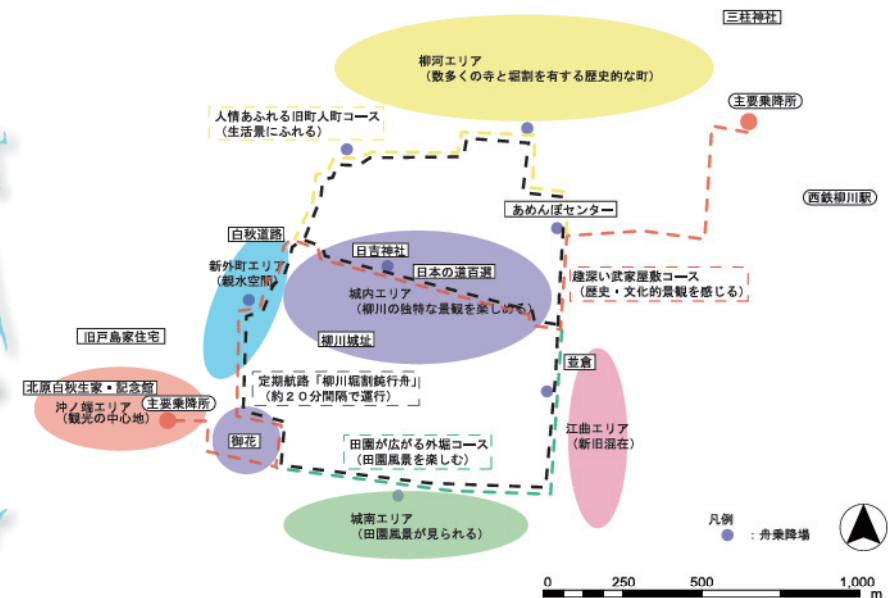


■ 新しい川下りルートの提案

まだまだ魅力を感じる川下りルート、方法があります！



川下りのルートと利用方法の多様性を高め、川下りのもつ水上交通の魅力を最大限に利用することを目指す。

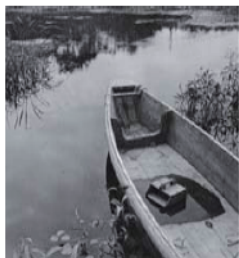
- ①堀割の水上交通機能を向上させる。
- ②利用者の選択肢の増加、観光資産をつなぐ役割を担う。
- ③柳川の景観価値の向上。
- ④住民が堀割に積極的に関わることのできる仕組みづくり。

■ 新川下りコース

辻門橋の暗渠を元に戻すことで、現在の内堀・外堀コースのほかに、柳河地区方面のコースが増加が可能になる。新たなコースが設けられることで、柳川の町と堀割の関係性が向上し、観光客にとっても新たな選択肢が創出される。



～堀割を活かしきる～



■ 新HORIWAREシステムの導入

柳川市観光協会、川下り観光業者6社、柳川市観光まちづくり課、地元商店街、有志等

事業内容

- ①舟乗降場の増設
堀割周辺に多く点在する観光資源と人々をつなげる
- ②定期航路の導入
定時運行する舟（高齢者無料）
Ex. 堀割環状線、駅前・沖端直通コース
- ③自由航路の導入
使用者自ら舟を漕ぐ。
どの乗降場でも乗り捨て可
- ④料金システム
観光専用コース1回と定期航路、自由航路乗り放題パス発行
- ⑤住民参加の誘導
白秋道路に親水空間の整備（ピオトーブetc.）、水質浄化活動を同時に行い、住民の堀割に対する愛着を育てる。